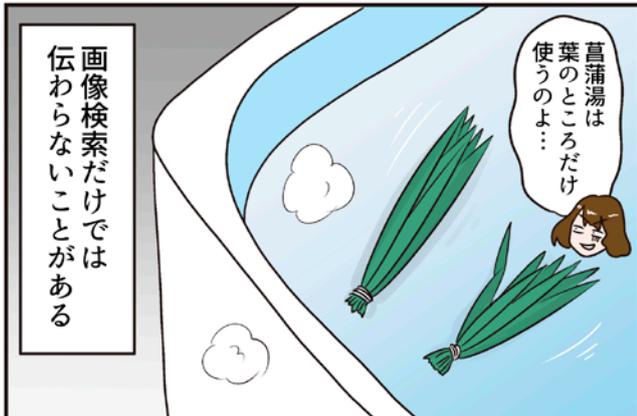


# IT日和

イラスト 山本コウカ

vol.24 しょうぶ湯



## App Store アプリ のお知らせ

アプリをダウンロードすると iPad, iPhone, iPod Touch といった iOS 端末から読むことができます!



会誌「情報処理」



デジタル  
プラクティス

アプリのダウンロード  
はこちら (無料)

デジタル  
会誌「情報処理」プラクティス



## 情報処理学会 会員募集中!!

ITに関する最新情報や研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます



詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

お問合せ

一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

# 会誌編集委員会 女子部

Number  
35

## 社会人になってからの友だち作り@学会

(株) NTTドコモ 土井千章

先日、学生の方から「社会人は、会社以外で新しい友だちをどこで作るのですか？」と聞かれた。「社会人サークルや習い事で会ったりするのかなあ。」と回答したが、私は社会人サークルに入ったことがないし、社会人になってから習い事もしていない。ABC Cookingの体験には行ったことがあるが、そのときも研究所の同期と後輩と4人で行き、ほかの参加者の方とは話さなかった。

唯一、「ここではたくさん友だちができたな」と思ったのが、電子情報通信学会 データ工学研究専門委員会、日本データベース学会、本会 データベースシステム研究会が主催しているデータ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM) <sup>☆1</sup> である。上司から勧められて、一度発表をさせていただいた。知り合いがまったくいない中、相部屋になった女性たちも学会の仕事が忙しそうとゆっくり話す時間が持てないまま、夜のセッションに参加した。たまたま、席が隣になった女性研究員の方と初めて話ができ、さらにその彼女がほかの参加者の方を紹介してくれて、たくさんの方と知り合いになることができた。お陰でとても有意義な時

間が過ごせた。学会から帰ってきてから皆様とまたお話したいと思い、交流会を開きたいのだがと彼女に相談したら協力してくれた。それから、不定期に開催している交流会では参加者の同僚の方も参加して下さったり、漁船を予約して釣りに行ったり、DEIM 2017のセッションで大学や企業の研究者が集まり共同で発表しようという取り組みも始まった。このセッションの発表準備は、休日集まったり、Slack <sup>☆2</sup> で相談したり、とても楽しく充実している。彼女らは間違いなく私の学会でできた友だちである。

後日、学生の方に「社会人になってから、学会で友だちできたよ」と話をしたら、「学会ってほかの大学の人と仲良くなれますよね！分かります！」と共感してくれた。学会は技術を学んだり自分の研究を深めたりする場だと思うが、世代を問わず友だちまで作れる場でもあるのだ。しかも同じ、もしくは似たような興味を持つ友だちを。もうすでに当たり前のことなのかもしれないが、研究を発表して質疑応答やコメントをいただくことで研究の質やモチベーションを高められるだけではなく、友だち作りもできることは学会に参加する醍醐味の1つであると思う。

<sup>☆1</sup> データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム  
<http://db-event.jp/2017/organizer.html>

<sup>☆2</sup> Slack, <https://slack.com/>



交流会の様子

## 2016年度マイクロソフト情報学研究賞の表彰

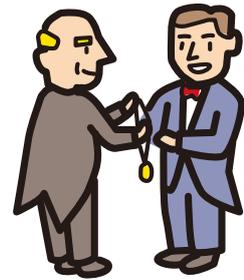
本会では、日本マイクロソフト株式会社の協力により、情報処理の研究・開発に携わる優秀な若手研究者を顕彰するため、「マイクロソフト情報学研究賞」を設けております。

本賞は、情報学の主要な分野で、その研究・開発において国際的に顕著な貢献が認められ、今後もその進歩・発展が期待される若手研究者で、日本国内の大学および公的研究機関に所属し、推薦締切日時点で本学会正会員として3年以上を経過し博士号取得後10年以内の者に贈呈するものです。

本年度の受賞者は「マイクロソフト情報学研究賞候補者推薦書」により推薦された候補者のうち、表彰規程およびマイクロソフト情報学研究賞候補者選定手続きに基づき、東野副会長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認（2017年1月30日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て、下記の2君に決定されました。

受賞者には、本会表彰規程により、3月16日に開催された第79回全国大会において、表彰状および賞金が授与されました。

- 「手芸のための対話的な形状デザイン手法」  
五十嵐 悠紀君（正会員）
- 「言語データの意味的解析による知識獲得と社会観測に関する研究」  
岡崎 直観君（正会員）



### 訂正

本誌58巻3号(2017年3月号)の学会活動報告「IFIP—情報処理国際連合—近況報告」に一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

P.232 右段18行目

(誤) ECIS (European Colloid and Interface Society)

(正) ECIS (European Conference on Information Systems)

# 会員の広場

## Member's Voice

今月の会員の広場では、2月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特別解説「ニューラル機械翻訳の衝撃」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■期待したが、2ページしかなかったこともあり内容がものたりなかった。改めて詳細な記事を望みます。(藤森英明)

■話題になっていたためタイムリーな解説記事でした。できれば、もっと誌面をさいた、詳しい解説を読みたいところでした。(匿名希望)

小特集「8K スーパーハイビジョン放送を支えるメディア伝送技術」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■高品質な映像への要求は根強いと主張されているが、どこまでの高品質な映像が必要なのか未来像を示してほしい。(吉田泰光)

■国際標準の話題でもあったので、技術普及状況やステークホルダ関係の国際比較の記事があると理解が進むのではと思いました。(匿名希望)

■8K時代に向けたプライバシー保護技術の今後について、興味を持ちました。(長山知由理)

■私にとっては難解であったが、最新の4K、8K技術について知ることができて良い特集だったと思う。テレビ放送にもHTML5を使用する点について初めて知り興味を持った。(澤 佳祐/ジュニア会員)

■次は4K/8Kのコンテンツサービスの動向が知りたいと思いました。(匿名希望)

■一般的な利用に向けて着実に作業が進んでいると感じた。東京オリンピックまでには、普通の人が持てるくらいにコストが下がれば良いかと夢のようなことを考えた。(匿名希望)

「5. 8K スーパーハイビジョン放送実現に向けたMMT対応受信機」

■専門用語が覚えやすかった。(匿名希望)

教育コーナー「ペタ語義：学習者の主体的な学習・学修が効果的であるには」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■出前授業で日本語の体言と英語の名詞の比較を話す生徒から好評だったと書いてありますが、その内容が詳しく知りたいと思いました。改めて解説記事で詳しい授業内容の紹介をしてほしい。(匿名希望)

教育コーナー「ペタ語義：ICT活用に想う」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■デジタルデバイドの問題点が言われて久しいが、データを見せられても今1つピンと来なかった。この論文では、新しい視点からのデータを提示して実証的に指摘されていて、勉強になった。この先に新しい研究が育ち、それによる社会貢献、国際的な援助などの広がり期待する。学会として応援する価値があると思う。(大川 知)

■今までに見たことがない研究であり、インターネットの利用実態を見える化したという点で興味深い。(匿名希望)

教育コーナー「ペタ語義：国立大学のノートパソコン必携化とその課題」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■他大学の状況も可能ならば知りたい。(匿名希望)

■BYODの拡大には、教員による講義の進め方の変更も必要だということが分かりました。では、教員が講義の進め方を変更するモチベーションはなんでしょうか。設備の導入も重要な課題ですが、実はこの点の解決がキモであるように思います。(山田菊子)

連載「ビブリオ・トーク：夜明けのロボット(上)(下)」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■機会があればぜひ読んでみたいと思いました。(匿名希望)

会議レポート「ICFP 2016 参加報告」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■申し訳ありませんが流し読みになってしまいました。(匿名希望)

連載「会誌編集委員会女子部」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■会議レポートと本記事で「ダイバーシティ」という言葉が使われていますが、男女共同参画のみに焦点を当てているように見えます。(匿名希望)

連載漫画「IT日和」については、以下のようなご意見・感想をいただきました。

■なかなかツボにハマりません、私はITに向いていないのかもと心配になります(笑)。(匿名希望)

その他の記事に関しては、以下のような感想をお寄せいただきました。

■穂坂衛氏を偲ぶ：穂坂さんの業績を1ページに見事にまとめられていたと思います。「みどりの窓口」の開発とIEEEのComputer Pioneer Awardについての情報処理の記事(2006?)を思い出しました。(藤森英明)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■表紙のデザインが毎号変わることについて、毎号意味など説明の記載があると良い。(嶋 廣二)

■大学9月入学に向けたメリット・デメリットに興味があります。大寒の季節の入試はデメリットだらけで、いつかは改革が必要に思います。(匿名希望)

■会誌の内容は、いつもながつまらない。読もうという気が起こってこない。このアンケートの取り方も下手。このアンケートの取り方では、改良に結びつかない。反省点・批判が出ないように工夫されたアンケートの取り方だ。これでは、今後の展望はない。個別の記事へのアンケートだけでなく、会誌の企画そのものに対するアンケート項目があってしかるべきである。(匿名希望)

■レンダリングやコンピュータグラフィクスに関するテーマ。(持田恵佑)

■近年の技術進歩のスピードに個人で追従するのは難しいですが、多岐にわたる最新技術の話題が豊富な本誌によって助けられています。(匿名希望)

■学会の社会貢献の一環として、あまり気付かれていなかった(私だけが知らなかったということかもしれませんが)デジタルデバイスへの取り組みのような記事があると良いと思いました。(大川 知)

■取り上げてほしいテーマ：デジタルヒューマニティーズ。(匿名希望)

■情報倫理やリテラシーの特集が見てみたいです。(匿名希望)

■学生の興味を惹くような特集や連載があれば、彼らにも入会をすすめるきっかけにできると思います。(匿名希望)

■TCP/IPや符号理論など放送、通信に関係する情報技術はたくさんあるのでそれらについても詳しく解説してほしい。(澤 佳祐/ジュニア会員)

■会誌は冊子による提供が標準となっているが、情報学広場(電子図書館)による提供を標準としてほしい。逆に冊子の方を有料化するべきである。(吉田泰光)

【本欄担当 森田 一, 中島 悠/会員サービス分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html>>にも掲載しています。Web版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>>で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部  
E-mail: [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp) Fax (03) 3518-8375  
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ  
ください!



# IPJS カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「インタラクシヨンの理解および基盤・応用技術」 特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-J.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-J.html</a>	4月21日(金)		
	論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-F.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-F.html</a>	4月28日(金)		
	デジタルプラクティス「オープンデータを活用した新しい社会」 特集論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/9faeag000000r9do.html">http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/9faeag000000r9do.html</a>	5月8日(月)		
	論文誌「人文科学とコンピュータ」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-C.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-C.html</a>	5月9日(火)		
	論文誌「Advances in Collaboration Technologies」特集への 論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-L.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-L.html</a>	5月10日(水)		
	論文誌「組込みシステム工学」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-M.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-M.html</a>	5月11日(木)		
	論文誌「若手研究者」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-K.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-K.html</a>	6月7日(水)		
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-H.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-H.html</a>	8月2日(水)		
4月17日(月)	第159回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc159.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc159.html</a>	2月24日(金)	当日のみ	東京大学 情報基盤センター
4月24日(月)～ 4月26日(水)	The1st.cross-disciplinaryWorkshoponComputingSystems, Infrastructures,andProgramming (xSIG2017) <a href="http://xsig.hpcc.jp/">http://xsig.hpcc.jp/</a>	12月21日(水)		虎ノ門ヒルズ フォーラム
5月10日(水)	関西支部報告会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2017.html">http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2017.html</a>			京都市サテライトパーク
5月10日(水)	第180回システムとLSIの設計技術研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm180.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm180.html</a>	3月15日(水)	当日のみ	北九州国際会議場
5月10日(水)～	第207回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim207.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim207.html</a>	3月13日(月)	当日のみ	名古屋大学
5月11日(木)～	第102回グループウェアとネットワークサービス・ 第23回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn102spt23.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn102spt23.html</a>	3月14日(火)	当日のみ	日本大学文理学部 オーバル・ホール
5月12日(金)	九州支部報告会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2017.html">http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2017.html</a>			NTTデータ九州
5月12日(金)～	第163回アルゴリズム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al163.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al163.html</a>	3月13日(月)	当日のみ	長崎県建設総合会館
5月13日(土)	第114回人文科学とコンピュータ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch114.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch114.html</a>	3月20日(月)	当日のみ	龍谷大学 アバンティ響都ホール
5月13日(土)～	第22回教育学習支援情報システム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle22.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle22.html</a>	3月29日(水)	当日のみ	国立情報学研究所 学術総合センター
5月14日(日)	第231回自然言語処理・第116回音声言語情報処理合同 研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl231slp116.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl231slp116.html</a>	4月3日(月)	当日のみ	大阪大学 中之島センター
5月16日(火)～ 5月17日(水)	第140回システムソフトウェアとオペレーティング・システム 研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os140.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os140.html</a>	3月29日(水)	当日のみ	ホテルモントレ沖縄 スパ&リゾート
5月22日(月)～ 5月24日(水)	第218回システム・アーキテクチャ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc218.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc218.html</a>	3月24日(金)	当日のみ	登別温泉 第一滝本館
5月24日(水)	中国支部報告会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2017.html">http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2017.html</a>			岡山大学
5月25日(木)～ 5月26日(金)	第77回コンピュータセキュリティ・ 第37回インターネットと運用技術合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec77iot37.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec77iot37.html</a>	3月16日(木)	当日のみ	高知工科大学 永国寺キャンパス
5月25日(木)～ 5月26日(金)	第54回ユビキタスコンピューティングシステム・ 第19回コンシューマ・デバイス&システム合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi54cnds19.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi54cnds19.html</a>	4月3日(月)	当日のみ	北九州イノベーション ギャラリー
5月26日(金)	東海支部報告会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2017.html">http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2017.html</a>			ルブラ王山 (愛知県名古屋)
6月1日(木)～ 6月2日(金)	第171回マルチメディア通信と分散処理・ 第83回モバイルコンピューティングとパーベイシブシステム・ 第69回高度交通システムとスマートコミュニティ合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps171mbl83its69.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps171mbl83its69.html</a>	3月21日(火)	当日のみ	北谷美浜メディア ステーション (沖縄県中頭郡)
6月3日(土)	第140回情報システムと社会環境研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is140.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is140.html</a>	4月3日(月)	当日のみ	青山学院大学 青山キャンパス
6月5日(月)～ 6月6日(火)	2017年ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学 シンポジウム (HPCS2017) <a href="http://hpcs.hpcc.jp/">http://hpcs.hpcc.jp/</a>	1月30日(月)		神戸大学先端融合 研究環境統合研究拠点
6月8日(木)～ 6月9日(金)	第114回プログラミング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro114.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro114.html</a>	4月7日(金)	当日のみ	静岡県総合社会福祉 会館シズウエル

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
6月28日(水)～ 6月30日(金)	マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2017) シンポジウム <a href="http://dicomo.org/cfp/">http://dicomo.org/cfp/</a>	3月21日(火)	参加登録開始は 2017年4月を予定	定山溪万世閣ホテル ミリオオーネ
8月24日(木)	～ 組込みシステムシンポジウム (ESS2017)			下呂温泉 水明館
8月25日(金)	<a href="http://www.sigemb.jp/ESS/2017/">http://www.sigemb.jp/ESS/2017/</a>			
8月30日(水)	～ ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2017 (SES2017)			早稲田大学 西早稲田キャンパス
9月1日(金)	<a href="http://ses.sigse.jp/2017/">http://ses.sigse.jp/2017/</a>			
8月30日(水)～ 9月1日(金)	DAシンポジウム2017 <a href="http://www.sig-sldm.org/das/">http://www.sig-sldm.org/das/</a>	6月9日(金)		山代温泉 ゆのくに天祥
9月12日(火)	～ FIT2017第16回情報科学技術フォーラム			東京大学
9月14日(木)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2017/">http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2017/</a>			本郷キャンパス



Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 3月17日 マイクロソフト情報学研究賞の表彰
- 3月16日 デジタルプラクティス「オープンデータを活用した新しい社会」特集論文募集
- 3月16日 2017年度教員免許更新講習
- 3月15日 2017年就職情報を公開しました
- 3月15日 人材募集情報 (Vol.58 No.4)
- 3月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.58 No.4)
- 3月15日 漫画「情報処理学会公式 LINE スタンプができるまで」を公開しました
- 3月15日 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令案並びに幼稚園教育要領案、小学校学習指導要領案及び中学校学習指導要領案」に関する意見
- 3月9日 [プレスリリース] 2016年度情報処理技術遺産認定
- 3月8日 情報処理学会公式 LINE スタンプ「#include <情報系技術者の日常.h>」発売記念イベント「ボケてコンテスト」開催決定!
- 3月6日 今年も第79回全国大会会場でキャリア研究セッションやります
- 3月6日 IPSJ-ONE2017を開催
- 3月1日 「情報処理学会公式 LINE スタンプ」一部イラストを配布開始
- 3月1日 情報処理学会公式 LINE スタンプ「#include <情報系技術者の日常.h>」をリリース
- 3月1日 [プレスリリース] 2017年度認定情報技術者 (CITP) 企業認定の審査日程のお知らせ

# 人材募集 (有料会告)



**申込方法:** 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書に記載する「宛名」, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ, E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。

\*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

**申込期限:** 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

**掲載料金:** 国公立教育機関, 国公立研究機関 税抜 20,000円 (税込 21,600円)  
賛助会員(企業) 税抜 30,000円 (税込 32,400円)  
賛助会員以外の企業 税抜 50,000円 (税込 54,000円)

\*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 税抜 4,000円 (税込 4,320円) で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

**申込先:** 情報処理学会 会誌編集部(有料会告係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

\*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

## \*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

### ■国立情報学研究所

**募集人員** 准教授, 助教 あわせて若干名(任期は5年間。教授採用を考慮する場合もある。なお, 採用後, 優れた業績を出された場合は, 昇任または任期のない職への任用を行う場合があります)

**研究開発分野** ①情報学プリンシプル研究分野, ②アーキテクチャ科学研究分野, ③コンテンツ科学研究分野, ④情報社会関連研究分野

**応募資格** 原則として博士の学位取得または取得見込みの者(人文・社会科学系の研究者にあつては, これに準ずる者を含む)

**着任時期** 原則として2018年4月1日

**提出書類** (1)履歴書, (2)研究業績(論文, 著書リストおよび主要業績3編について, 別刷(コピー可)各3部), (3)学会における活動状況, (4)職域における活動状況, (5)社会における活動状況, (6)推薦書/照会先, (7)就任後の抱負:任意の様式による(2,000字程度)。このうち(1)から(5)は後述のWebページから所定様式をダウンロードし, その様式に従って作成してください。なお(6)と(7)は自由形式とします

**応募締切** 2017年5月31日(必着)

**送付先** 〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 「情報・システム研究機構国立情報学研究所長」宛  
「応募書類在中(研究教育職員)」と朱書き, 書留郵便等, 配達証明相当がある方法にて送付のこと

**照会先** 国立情報学研究所 アーキテクチャ科学研究系・教授 佐藤一郎 E-mail: koubo2017@nii.ac.jp

**その他** 書類審査および面接による。面接は書類審査合格者を対象とし, これに係る旅費, 宿泊費等は自己負担となります。また, 応募書類は返却しません

応募にあたっては, 必ず国立情報学研究所 研究教育職員 公募要領のWebページ (<http://www.nii.ac.jp/about/recruit/>) に従って, 提出書類を作成・送付してください



## ■福井工業大学環境情報学部経営情報学科／情報学

募集人員	教授、准教授または講師 各分野それぞれ1名
所属	環境情報学部経営情報学科
専門分野	以下(1)、(2)のうち、いずれかに該当すること (1)情報学(データベース、情報システムなど) (2)情報学(ネットワーク、セキュリティなど)
担当科目	専門分野(1)(データベース、情報システムなど) : データベース論、情報システム論、プログラミング、PBLなどで大学院の関連科目を含む 専門分野(2)(ネットワーク、セキュリティなど) : ネットワーク論、ネットワークセキュリティ、プログラミング、PBLなどで大学院の関連科目を含む
応募資格	①博士の学位(取得見込み含む)を有する方(履歴書に学位を明記)、②教育・研究、そして学生の学業・生活・進路指導に熱意があり、学科運営にも積極的に参加、高校などへの出張授業などの地域貢献もできる方、③教養科目として開講されている基礎的な数学科目も担当可能な方、④外部資金の獲得に積極的に取り組み、学科のプロジェクトへの企画・参加ができる方、⑤採用後は、福井市近郊に居住することができる方
待遇	給与は当学園規程による
着任時期	2017年10月1日
応募書類	①履歴書(市販A版、本人自筆、要押印、現職およびE-mailアドレスを明記) ②教育研究業績書(A4用紙、本学指定様式あり(Webページに掲載)) ・教育実績(教授したことのある科目など、社内教育も含む) ・研究業績(学術論文、国際会議論文、口頭発表、著書、特許、その他に種別し、それぞれ300字程度の概要をつけること) ③最近5年間の主要研究論文の別刷(5編以内、コピー可): 企業の方は携わった開発の概要をもってこれに代えても構いません ④これまでの研究と今後の研究に対する抱負(A4用紙1枚程度) ⑤教育に対する抱負(A4用紙1枚程度) ⑥本人について参考意見をうかがえる方2名の所属、氏名、連絡先、E-mailアドレスおよび本人との関係を記載した書類(様式自由)
応募締切	2017年5月31日(水)必着(持参または郵送にてご応募ください)
選考方法	書類選考で候補となられた方には、最終面接の前に本学にて学科面接をさせていただきます。その際、推薦書(A4用紙、様式自由、推薦者1名)の持参をお願いします
送付先	〒910-8505 福井県福井市学園3-6-1 学校法人金井学園 法人本部 経営企画部 経営企画課採用担当 応募書類は、封筒表に「大学教員応募書類(経営情報学科)(1)または(2)」と朱書きし、持参または簡易書留にてご提出ください。応募において提出いただきました個人情報、本学個人情報の保護に関する規程に準じて適正に管理し、今回の採用選考以外の目的には使用しません。また、応募書類は原則として返却しませんが、返却を希望する場合は、料金の不足のないよう切手を貼付の上、返信用封筒を同封してください
問合せ	環境情報学部経営情報学科 主任教授 松岡博幸 Tel(0776)29-2431(直通) E-mail: matsuh@fukui-ut.ac.jp
その他	募集情報URL: <a href="http://www.kanaigakuen.jp/recruit/">http://www.kanaigakuen.jp/recruit/</a>

## ■トヨタ自動車(株)

募集人員	正社員 数名
専門分野	情報工学または関連分野
応募資格	博士または修士の学位を持ち、下記必要能力について1つ以上の実務(研究)経験がある方 ・コンピュータビジョン(3次元計測、センサ信号処理含む)、SLAM、数理統計、計算物理、データ・サイエンス、機械学習、知識モデリング、バス・プランニング等の知能化技術の専門知識 ・新しいアイデアを大規模なソフトウェアに組み込み、評価・開発が進められるソフトウェア開発能力(C/C++での開発能力は必須)
仕事内容	自動運転技術の開発(知能化技術)
勤務地	静岡県、東京都 ※愛知県、各工場など、国内・海外の事業所・関連施設への転勤の可能性あり
応募締切	2017年6月14日
その他	応募は当社Webページ( <a href="http://www.toyota-careers.com/automated_driving/index.html">http://www.toyota-careers.com/automated_driving/index.html</a> )から受け付けます。応募内容の詳細は、当社Webページをご覧ください

## ■神奈川大学理学部情報科学科

募集人員	教授または准教授1名(任期なし)
専門分野	情報科学、特に人工知能関連分野
担当科目	知識情報処理などの専門科目、プログラミングなどの演習科目・実験科目、確率統計などの基礎科目
応募資格	博士の学位を有し、大学院博士後期課程の教育も担当できる方
着任時期	2018年4月1日
提出書類	下記Webページをご覧ください
応募締切	2017年7月10日(当日消印有効)
照会先	神奈川大学 理学部 情報科学科主任 松尾和人 Email: k-matsuo@kanagawa-u.ac.jp
その他	提出書類などの詳細はWebページ( <a href="http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/pdf/038.pdf">http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/pdf/038.pdf</a> )をご覧ください



# FIT2017 第 16 回情報科学技術フォーラム 選奨論文・一般論文 講演募集

大会会期：2017年9月12日(火)～14日(木)

会 場：東京大学 本郷キャンパス(東京都文京区本郷 7-3-1)

FIT2017 Web ページ ⇒ <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2017/>

論文受付期間：2017年4月24日(月)～5月15日(月)

FIT2017では、選奨論文(4～8ページ程度)と一般論文(2～8ページ程度)の2つのカテゴリの論文を募集します。いずれの場合も、研究会取り扱い分野をよくご確認の上で自身の論文内容と一致した研究会を、申込者ご自身の責任において適切に選択してください(3ページ目以降は追加ページ代[4,000円/頁]が必要です)。◆講演時間：20分

## FITについて

情報処理学会(IPSJ)並びに、電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ(ISS)、ヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2017年9月には第16回目を東京大学で開催します。本フォーラムは、両学会の大会の流れをくむものですが、従来の大会の形式にとらわれずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。皆様の研究成果発表の場として、標記の通り論文発表を募集しますので奮ってご応募ください。

## ■ 論文申込主要日程

登録申込/投稿受付開始：2017年4月24日(月)

登録申込締切：2017年5月15日(月)

最終掲載原稿締切：2017年6月29日(木)

# FIT2017より、査読付き論文は廃止とし、選奨論文制度を取り入れました。

# 登録申込と原稿投稿は上記のFIT2017Web ページよりお願いします。詳細はWeb ページをご覧ください。

## ■ 表彰

FIT2017から選奨方法が変わります。受賞のチャンスが広がりました。ぜひチャレンジしてください。FITには以下の表彰制度があります。

船井ベストペーパー賞	選奨論文の中からFIT 学術選定委員会で審査の上、3件選定 賞金は船井情報科学振興財団より20万円贈呈
FIT 論文賞	選奨論文の中からFIT 学術選定委員会で審査の上、数件選定 賞金はFIT 運営委員会より5万円贈呈
FIT ヤングリサーチャー賞	2017年12月31日現在で33歳未満の全講演者(選奨論文および一般論文)の中から、発表件数の1.5% を上限として選定 次回のFIT2018の表彰式にて賞金3万円をFIT 運営委員会より贈呈
FIT 奨励賞	一般発表のセッションごとに座長の裁量で優秀な発表を1件その場で選定(該当なしもあり) FIT 終了後に賞状を贈呈

※いずれの賞も、電子情報通信学会または情報処理学会の会員であること

## ● 選奨論文(4～8ページ程度)

選奨論文(船井ベストペーパー賞、FIT 論文賞への審査を希望する論文)として応募する場合は、Web からの講演申込みの際に、「船井ベストペーパー賞/FIT 論文賞への審査希望」欄にチェックを入れてください。FIT 初日の、船井ベストペーパー賞セッションに組み込まれ、FIT 学術選定委員会担当委員による1次審査を行います。1次審査の結果は当日の夕方までに大会会場に掲示されます。2次審査はFIT 終了後実施され、上位3名が船井ベストペーパー賞、次点数名がFIT 論文賞の受賞者となります。研究会取り扱い分野をよくご確認の上、ご自身の論文内容と一致した研究会を、申込者自身の責任において適切に選択してください。

※4ページ以上の投稿が必須ですが、3ページ目からは追加ページ代(4,000円/ページ)が発生します。たとえば6ページ投稿の場合、4ページ分の追加ページ代が発生しますので、講演参加費のほかに「4,000円×4=16,000円」の追加費用が必要となります。

## ● 論文誌推薦制度について

選奨論文の中から船井ベストペーパー賞の審査を通して賞選定委員会により優秀な論文と判断されたものを、FIT プログラム委員会が電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦します。掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定しますので、推薦された論文の論文誌への投稿の際には、投稿先学会の論文誌編集委員会の評価基準を満足しうる、完成度の高い論文に仕上げてください。

## ● 一般論文(2～8ページ程度)

研究会取り扱い分野をよくご確認の上、ご自身の論文内容と一致した研究会を、申込者自身の責任において適切に選択してください。FIT ヤングリサーチャー賞、FIT 奨励賞の対象となります。

※3ページ以上の投稿も可能ですが、3ページ目からは追加ページ代(4,000円/ページ)が発生します。たとえば4ページ投稿の場合、2ページ分の追加ページ代が発生しますので、講演参加費のほかに「4,000円×2=8,000円」の追加費用が必要となります。

## ● 申込みの方法・注意事項

講演申込みおよび論文原稿投稿は FIT2017Web サイトよりお願いいたします。

1人が複数の発表を行うことを認めます。ただし、内容がきわめて類似したものを数件にわたって発表することはできません。なお、会場数、会期日数などの制約によりプログラム編成上、講演分野の変更を行うこともございますのであらかじめご了承ください。

## ● 講演募集内容

最近行った研究および調査の報告、または成果を上げた新しい企画および試験結果の報告、新製品の紹介等で、学術的に価値のある未発表のものに限ります。論文の種類には、選奨論文と一般論文があります。

※選奨論文に投稿して賞の候補とならなかった場合は、一般論文として扱います。

—【講演参加費(税込)】—

正会員	12,000円	一般非会員(社会人)	24,000円
学生会員	6,000円	学生非会員	12,000円

※登録申込締切後に講演の取消をされても講演参加費等をお支払いいただくこととなりますのでご注意ください。

## ● 募集分野

以下の15の分野で論文の募集を行います。各分野に対応する研究会は以下ようになります。

※は電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、◇は電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ、☆は情報処理学会を示します。

### ● A: モデル・アルゴリズム・プログラミング

- A-1 ☆アルゴリズム(AL)
- A-2 ☆数理モデル化と問題解決(MPS)
- A-3 ☆プログラミング(PRO)
- A-4 ※コンピュータエーション(COMP)

### ● B: ソフトウェア

- B-1 ☆ソフトウェア工学(SE)
- B-2 ☆ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)
- B-3 ☆システムソフトウェアとオペレーティング・システム(OS)
- B-4 ☆ドキュメントコミュニケーション(DC)
- B-5 ※ソフトウェアサイエンス(SS)
- B-6 ※知能ソフトウェア工学(KBSE)

### ● C: ハードウェア・アーキテクチャ

- C-1 ☆システムとLSIの設計技術(SLDM)
- C-2 ☆システム・アーキテクチャ(ARC)
- C-3 ☆組み込みシステム(EMB)
- C-4 ※コンピュータシステム(CPSY)
- C-5 ※ディペンダブルコンピューティング(DC)
- C-6 ※リコンフィギュラブルシステム(RECONF)
- C-7 ※再生可能集積システム(RIS)

### ● D: データベース

- D-1 ☆データベースシステム(DBS)
- D-2 ☆情報基礎とアクセス技術(IFAT)
- D-3 ※データ工学(DE)

### ● E: 自然言語・音声・音楽

- E-1 ☆自然言語処理(NL)
- E-2 ☆音声言語情報処理(SLP)
- E-3 ☆音楽情報科学(MUS)
- E-4 ※言語理解とコミュニケーション(NLC)
- E-5 ※音声(SP)

### ● F: 人工知能・ゲーム

- F-1 ☆知能システム(ICS)
- F-2 ☆ゲーム情報学(GI)
- F-3 ※人工知能と知識処理(AI)
- F-4 ※情報論的学習理論と機械学習(IBISML)

### ● G: 生体情報科学

- G-1 ☆バイオ情報学(BIO)
- G-2 ※ニューロコンピューティング(NC)
- G-3 ※MEとバイオサイバネティクス(MBE)
- G-4 ※医用画像(MI)

### ● H: 画像認識・メディア理解

- H-1 ☆コンピュータビジョンとイメージメディア(CVIM)
- H-2 ※パターン認識・メディア理解(PRMU)
- H-3 ※汎光線時空間映像学(PoTS)

### ● I: グラフィクス・画像

- I-1 ☆コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学(CG)
- I-2 ☆オーディオビジュアル複合情報処理(AVM)
- I-3 ☆エンタテインメントコンピューティング(EC)
- I-4 ☆デジタルコンテンツクリエイション(DCC)
- I-5 ※画像工学(IE)

### ● J: ヒューマンコミュニケーション&インタラクション

- J-1 ☆ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)
- J-2 ☆高齢社会デザイン(ASD)
- J-3 ☆異文化コラボレーション(IC)
- J-4 ※クラウドネットワークロボット(CNR)
- J-5 ◇ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)
- J-6 ◇ヒューマン情報処理(HIP)
- J-7 ◇ヒューマンプロトタイプ(HPB)

### ● K: 教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

- K-1 ☆アクセシビリティ(AAC)
- K-2 ※教育工学(ET)
- K-3 ※サイバーワールド(CW)
- K-4 ☆マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント(EMM)
- K-5 ◇メディアエクスペリエンス・バーチャル環境基礎(MVE)
- K-6 ◇福祉情報工学(WIT)

### ● L: ネットワーク・セキュリティ

- L-1 ☆インターネットと運用技術(IOT)
- L-2 ☆コンピュータセキュリティ(CSEC)
- L-3 ☆セキュリティ心理学とトラスト(SPT)
- L-4 ※情報通信システムセキュリティ(ICSS)

### ● M: コピキタス・モバイルコンピューティング

- M-1 ☆グループウェアとネットワークサービス(GN)
- M-2 ☆コピキタスコンピューティングシステム(UBI)
- M-3 ☆モバイルコンピューティングとパーベイシブシステム(MBL)
- M-4 ☆高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)
- M-5 ☆マルチメディア通信と分散処理(DPS)
- M-6 ☆コンシューマ・デバイス&システム(CDS)

### ● N: 教育・人文科学

- N-1 ☆コンピュータと教育(CE)
- N-2 ☆人文科学とコンピュータ(CH)
- N-3 ☆電子化知的財産・社会基盤(EIP)
- N-4 ☆教育学習支援情報システム(CLE)

### ● O: 情報システム

- O-1 ☆情報システムと社会環境(IS)
- O-2 ※ライフインテリジェンスとオフィス情報システム(LOIS)
- O-3 ※ソフトウェアインテグレーションモデリング(SWIM)
- O-4 ※サービスコンピューティング(SC)
- O-5 ※減災情報システム(DRIS)

## ● 講演者の会員区分

**会員:**電子情報通信学会、情報処理学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会および情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM, IEEE, IEEE-CS, KIISE, CSI, CCF)または電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(IEIE, APSIPA, ECIT, IEEE-ComSoc, KICS, VDE/ITG, KIEES, CIC, IEEE-PHO, IEEE-MTT-S, IEEE-CS, KIISE)の個人会員に限ります。

**非会員:**上記の学会会員以外の方

■ 問合せ先 (FIT2017 幹事学会) 一般社団法人情報処理学会 事業部門 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
電話 (03) 3518-8373 FAX (03) 3518-8375 E-mail: fit2017@ipsj.or.jp

## ◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

### 記

#### ■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1ページ，1/2ページ または1/4ページ	(主催・共催)	
			1ページ	50,000円(税込54,000円)
			1/2ページ	30,000円(税込32,400円)
			1/4ページ	20,000円(税込21,600円)
			(協賛)	
		広告として取り扱う		
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	20,000円(税込21,600円)
			賛助会員（企業）	30,000円(税込32,400円)
			賛助会員以外の企業	50,000円(税込54,000円)
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金4,000円(税込4,320円)で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

#### ■原稿の書き方

- 行事次第書： A4判カメラレディまたはPDFファイル（フォント埋め込み）とします。  
 (1ページ) 天地 260mm × 左右 175mm  
 (1/2ページ) 天地 130mm × 左右 175mm  
 (1/4ページ) 天地 65mm × 左右 175mm  
 \* A4判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mailまたはFax，郵送にてお送りください。  
 [募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]  
 \* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月15日を締切日とし，翌月号（15日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）  
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

# ご寄付のお願い

情報処理学会は、情報処理に関する学術および技術の振興をはかることにより、学術、文化ならびに産業の発展に寄与することを目的に各種事業を戦略的に展開しております。今回、学会活動の更なる活性化を図る上で会員の皆様からご寄付を頂戴いたしたく、お願いを申し上げます。

皆様から頂きますご寄付は

情報技術を通じて、人類及び世界の発展に資するため  
情報技術を中心に学術および技術の振興に資するため  
将来を担う人材の育成に資するため

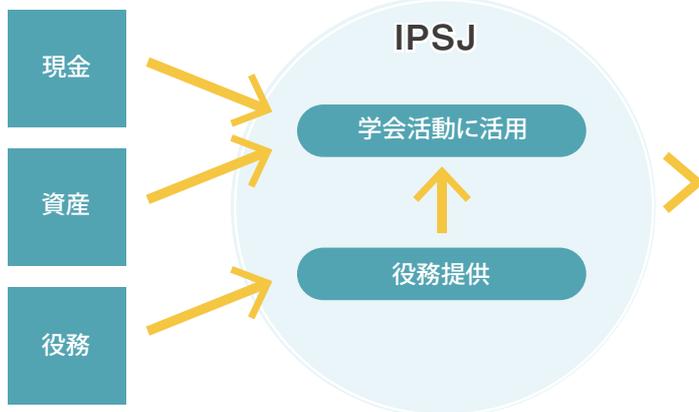
などの観点に照らし、下記の項目に活用させて頂く所存です。

今回ご寄付をお願いしたいのは現金に加えて、情報技術に関わる有形無形の資産（著作物、電子的コンテンツ、特許、ソフトウェア等）、ボランティアで提供いただける役務提供（経験や知識に基づく役務）なども含みます。お預かりいたしましたご寄付のうち用途のご指定のあるものは、そのご意向に沿った活用をさせて頂き、ご指定のないものは、その用途を学会活動の活性化に有効な諸事業で活用させて頂きます。今後も会員の皆様の絶大なるご支援・ご協力を頂きながら、学会発展のために努力して参る所存でありますので、何卒よろしく願い申し上げます。

\*ご注意 情報処理学会は寄付金に対する税金が優遇される特定公益増進法人ではございません。

## IPSJ 寄付

### 会員他寄付



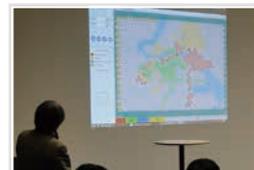
### 活用先

#### 教育・育成

情報入試 子ども教室 パソコン教室

#### 社会貢献

表彰  
国際活動  
規格標準化  
情報資産保存  
学会諸事業  
その他



詳しくはこちら

<http://www.ipsj.or.jp/annai/outward/donation.html>

お問合せ

一般社団法人 情報処理学会 管理部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

TEL 03-3518-8374 FAX 03-3518-8375

✉ [soumu@ipsj.or.jp](mailto:soumu@ipsj.or.jp)

小中高校生、高専生、大学学部、専門学校生の皆さん、  
情報処理学会のジュニア会員になりませんか？

2017年度

# ジュニア 会員募集!!

会費  
無料

## 人気の学会誌が読める！

面白くてためになる情報処理学会の月刊誌「情報処理」を電子図書館で無料閲覧しよう！

## 電子図書館をフルに活用できる！

幅広いトピックをカバーする研究報告や専門的な論文を無料で読もう！

## 学会のイベントにお得に参加できる！

無料またはジュニア会員価格でお得に参加しよう！



## 入会について

### どうすれば入会できますか？

下記のジュニア会員専用の入会申込フォームで、オンラインで登録が完了します。

<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai-junior.html>

未成年の方は、指導教員または保護者の氏名欄にもご記入ください。



### いつまでに申し込みが必要ですか？

この期日を過ぎてから申し込みをされた方は、翌年度継続扱いにて承ります。

毎年**10月31日**まで

### 何年生まで申し込みできますか？

対象者は、下記の通りです。2017年4月の学年でご判断ください。

小中高校生

大学学部**3年生以下**

高等専門学校専攻科**1年生以下**

短期大学生

専門学校生

※ただし、以前「正会員」にご入会いただいている方はこの制度をご利用いただけません。



## ジュニア会員とは

### ジュニア会員制度の概要

若い世代の学生の皆様に、情報処理学会のコンテンツに触れてもらえる機会を増やすことで、学生の皆様のステップアップに繋がっていただくとともに、学術と産業の発展に貢献できればと考えて、この制度を始めることにしました。

### ジュニア会員のサービス内容

- 会費が無料です。
  - 創刊号から最新号まですべての「情報処理」を電子図書館で無料閲覧できます。紙の冊子での配布はありません。
  - 電子図書館に掲載しているその他の有料論文もすべて無料閲覧できます。
  - 本会のイベントは無料(またはジュニア会員価格)で参加できます。イベントによっては参加できない場合があります。
  - すべての研究発表会へ原則無料で参加できます。
- ※会員証はイベント参加時にご持参ください。

### 会員資格の有効期間と会員継続方法

- 会員資格の有効期間：入会日から年度末(3月末)まで
- 学生証の確認をさせていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 会員継続方法：毎年11月上旬に、電子メールで会員継続意思確認のご連絡をさせていただきますので、回答フォームより11月末までにご回答をお願いいたします。期日までにご回答を頂けない場合には、対象外となる方につきましては年度末をもって退会とさせていただきます。翌年4月に対象者でなくなつて有料会員(正会員または学生会員)を希望された方には、翌年度の会費支払いのご案内を1月頃にお送りします。会員継続をしない場合には、3月末までに退会連絡をしてください。

お問合せ先：会員サービス部門 E-mail : [mem@ipsj.or.jp](mailto:mem@ipsj.or.jp) Tel. 03-3518-8370



詳しくはWebをご覧ください。

<http://www.ipsj.or.jp/member/junior.html>



ipsj ジュニア

検索

# 2016年10月より入会承認のプロセスが変わりました

すでに Web 等でお知らせしたとおり、新規入会については、2016年10月より入会承認のプロセスが変更となりましたのでご注意ください。詳細は下記 URL をご覧ください。なお、2017年度から正会員の会費が改定となりました。

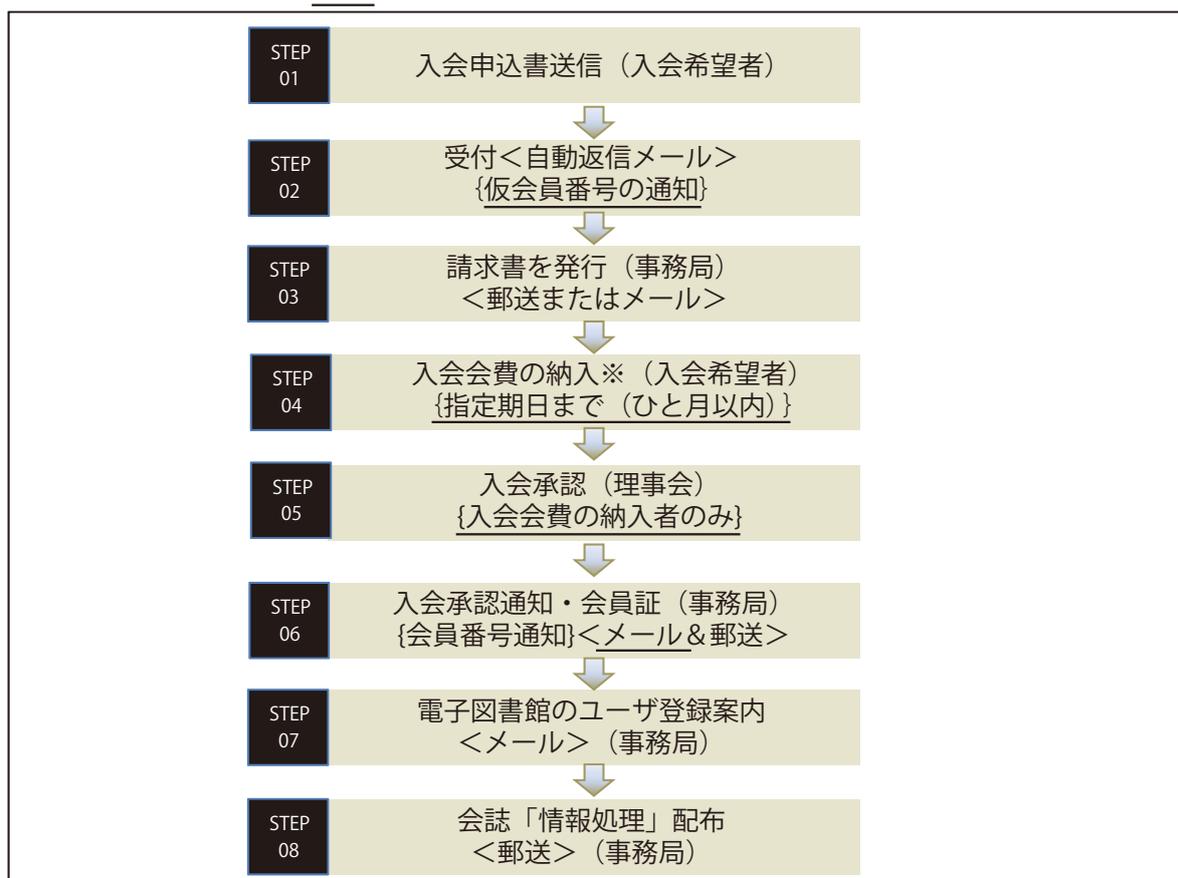
【重要】新規入会時の手順および会費請求方法の変更について（2016.5.18）

[http://www.ipsj.or.jp/member/nyukai\\_tejunhenko.html](http://www.ipsj.or.jp/member/nyukai_tejunhenko.html)

- 変更点
  - ・入会会費は年度額を請求します。会費[正会員：10,800円, 学生会員：4,800円]
  - ・年度途中からの入会でも、翌年度への繰越はありません。新年度は4月からスタートします。
  - ・指定期日または1カ月以内に入会会費の納入が確認できなかった場合には、入会をキャンセルしたとみなします。

## ■ 入会承認プロセス

変更箇所は下線のとおり。 ( ) 内は作業者、 <> 内は手段を示します。



## ■ 会費等の金額

	入会金*1 (消費税対象外)	年度会費*2 (消費税対象外)	論文誌購読費*3 (消費税込*5)	研究会登録費*4 (消費税込*5)
正会員	2,000円	10,800円	5,400円	有料
学生会員	---	4,800円	5,400円	有料(1つ無料)
賛助会員	---	1口 50,000円	5,400円	有料(口数分無料)

\*1：正会員の入会金免除の方法は、入会申込書に記載しています。

\*2：表示の会費は2017年度額です。

\*3：論文誌ジャーナル（月刊）。オンラインのみの購読となります。年度途中からの場合でも繰越はありません。

\*4：入会と同時に申込みできますが、毎年度変わりますので、研究会のWebサイトを参照してください。年度途中からの場合でも繰越はありません。

\*5：消費税込の金額については、8%となります。

## ■ 照会先

一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 メール: [mem@ipsj.or.jp](mailto:mem@ipsj.or.jp) <http://www.ipsj.or.jp/>



## 論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.58 No.4 (Apr. 2017)



### 【特集：ソフトウェア工学】

- 特集「ソフトウェア工学」の編集にあたって 大平雅雄
- 回帰結合ニューラルネットワークを利用した API 推薦手法 山本哲男
- 自動車ソフトウェア要求仕様書の第三者インスペクション方法の提案と適用評価 蛸島昭之 他
- クラス責務割り当てのファジィ制約充足問題としての定式化 林 晋平 他
- 改版履歴の分析に基づく変更支援手法における時間的近接性の考慮と同一作業コミットの統合による影響 森 達也 他
- テストケースの事前条件として適切な DB 初期状態の状態数とデータサイズを削減する手法の提案 丹野治門
- 編集スクリプトへのコピーアンドペースト操作の導入によるコード差分の理解向上の試み 肥後芳樹 他
- コードレビュー分析におけるデータクレンジングの影響調査 戸田航史 他
- ソフトウェア開発プロジェクトの生産性分析に対する傾向スコアの適用† 角田雅照 他
- 機械学習を利用した構文情報に基づく自動生成ファイルの特定 下仲健斗 他
- ソフトウェア開発 PBL におけるビルドエラーの調査 榎原絵里奈 他
- 多層システムに対する横断的な機能搜索 風戸広史 他

### 【一般論文】

- Predictive Maintenance Platform with Sound Stream Analysis in Edges † Yoji Yamato 他
- Event.Locky: System of Event-Data Extraction from Webpages based on Web Mining Chenyi Liao 他
- Gesture Recognition Method Utilizing Ultrasonic Active Acoustic Sensing\* Hiroki Watanabe 他
- IoT 環境における処理削減によるストリーミング処理時間短縮手法\* 義久智樹 他
- 運動系列実行時のチャック選択手がかりの検討：連続ボタン押し課題におけるセット置き換え型エラーの分析から 森田ひろみ 他
- Toolification of Games: 既存ゲームの余剰自由度の中で非ゲーム的の目的を達成するゲーミフィケーション周辺概念の提案と検討\* 栗原一貴
- 操作者の笑い声に基づく遠隔操作型アンドロイドの笑い動作生成\* 船山 智 他

\* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



## デジタルプラクティス掲載論文リスト Vol.8 No.2 (Apr. 2017)

### 【特集：社会に浸透する画像認識】

#### 【特集号招待論文】

- 設備保守の教育研修支援を目的とする AR 技術の開発と評価 佐川浩彦 他
- 自動車の運転支援・自動化のための画像センシング技術とその実践 岡田隆三 他
- 豊島区総合防災システムにおける群衆行動解析 石寺永記 他
- 映像「指紋」技術 Video Signature の開発—その研究開発、国際標準化、そして事業化の実践— 岩元浩太 他
- さまざまな分野で活用されるマルチモーダル・マイニング 中野宏毅 他
- 医師の画像診断業務を効率化する画像位置合わせ機能の開発 石原正樹 他

### 【特集号投稿論文】

- 駅構内モニタカメラを用いた混雑度可視化技術 米司健一 他
- 《座談会》画像認識応用におけるディープラーニングのインパクト

### 【一般投稿論文】

- システム開発文書品質モデル活用への取組み 山本雅基 他
- 組込み機器向け空間認識技術—家庭用エアコンに搭載したカメラから、間取りと家具を検出— 小松佑人 他



# 2017年度 シニア会員申請のご案内

本会は、2014年度より情報処理分野において継続的な貢献が認められ、学会活動を通して本会の発展に寄与する正会員に対し、将来にわたって引き続き学会活動の中心となって、学会の発展、ひいては社会への貢献をいただくという趣旨のもと、「情報処理学会シニア会員制度」を設けております。

シニア会員の申請有資格者様におかれましては、本制度の内容をご確認の上、ぜひとも申請をいただき、本会シニア会員として今後もなお一層の積極的な学会活動、ご活躍をいただければ幸いです。多くの方からの申請をお待ちしております。

## 2017年度シニア会員申請および申請手続き要項

以下の要項をご確認の上、学会 Web サイト内のシニア会員 Web ページより、「シニア会員申請フォーム」に申請書類を添付して事務局までご送信ください。また、事務局シニア会員担当あて電子メール、および郵送での申請も受け付けております。

Web ページ	<a href="http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/seniormember/seniormember.html">http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/seniormember/seniormember.html</a>
申請対象者	2017年4月1日現在で正会員として連続5年以上在会の方が対象です。 *年齢不問、学生会員としての在会期間は対象外です。
申請受付締切	2017年7月31日(月)まで
申請書類	シニア会員申請書1通 シニア会員推薦書2通(推薦書は2名分必要です)
申請方法 (①～③いずれかの方法で申請してください)	<p>申請は自己申告による申請と第三者申告による申請がございます(詳細はWebページをご確認ください)。</p> <p><b>■自己申告の場合の申請方法</b></p> <p><b>① Web サイト申請フォームから申請</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>上記 Web ページより「シニア会員申請書」をダウンロード、必要事項を記入してください。</li> <li>推薦者に該当する2名の方より「シニア会員推薦書」を入手してください。</li> <li>「申請書」、「推薦書」、「推薦書」の順に計3ページ分をPDFにて1つのファイルにまとめてください。</li> <li>上記 Web ページ内の「シニア会員申請フォーム」に必要事項をご入力頂き、3.で作成したファイルを添付して受付期間内に申請してください。</li> </ol> <p><b>② 電子メールで申請</b></p> <p>soumu@ipsj.or.jp あてのメールに必要事項をすべて入力済みの「申請書」1通、「推薦書」2通を添付してお送りください。</p> <p><b>③ 郵送にて申請</b></p> <p>事務局管理部門シニア会員担当へ必要事項をすべて記載した「申請書」1通、「推薦書」2通(いずれもサイズはA4判)をお送りください。</p> <p>①, ②, ③とも事務局にて受付後、受付完了メールを申請者・推薦者にお送りしますのでご確認ください。</p> <p><b>■第三者申告の場合の申請方法</b></p> <p><b>【申告者(推薦者)】</b> 第三者による申告の場合、申告者(推薦者)は次項1～6のいずれかに該当する本会員に限ります。また、申告者は推薦者の一人となります。</p> <p><b>① Web サイト申請フォームから申請</b></p> <p><b>② 電子メールで申請</b></p> <p><b>③ 郵送にて申請</b></p> <p>いずれも自己申請の場合と同様。</p>
推薦者	<p>推薦者は下記1～6のいずれかに該当する方です。2名の方から推薦書をいただいでください(推薦者は上記 Web ページにて確認できます)。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本会名誉会員</li> <li>2. 本会フェロー</li> <li>3. 本会役員及び役員経験者</li> <li>4. 本会支部長及び支部長経験者</li> <li>5. 本会研究会主査及び研究会主査経験者</li> <li>6. 本会シニア会員</li> </ol>
審査方法	<p>申請書類に基づき、本会総務財務運営委員会で審査を行い、理事会へ諮ります。</p> <p><b>【審査基準】</b> 本会関連分野の技術者、科学者、教育者、技術管理者で、連続して5年以上本会正会員として在会しており、本会の諸活動の支援および諸事業において、貢献が認められる方。</p>
結果連絡	<p>2017年10月ごろ、申請書に記載のメールアドレスへ審査結果を連絡します(審査状況によっては日程が変更になる可能性があります)。</p> <p>申請が認定された方は、本会 Web ページにお名前を掲載し、後日「シニア会員認定証」を会誌発送先の住所へお送りします。</p>

申請・照会先：〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

情報処理学会事務局 管理部門 シニア会員担当

TEL：03-3518-8374 e-mail: soumu@ipsj.or.jp

CONTENTS

Preface

- 348 **Celebrating 50 Years of the ACM Turing Award**  
Vicki L. HANSON (ACM)

Special Features

**A Special Issue Marking the 50th Anniversary of the A. M. Turing Award**

- 350 **My Movie Review of "The Imitation Game", A Story of A. M. Turing**  
Illustration by Yuka YAMAMOTO  
A Supervisor : Yuko MURAKAMI (Tohoku Univ.)
- 352 **0. Foreword**  
Itaru KANEKO (Tokyo Polytechnic Univ.)
- 354 **1. Afterglow of Alan Turing**  
Yuko MURAKAMI (Tohoku Univ.)
- 356 **2.1 The Value of an Award is Established by Its Laureates**  
Ikuo TAKEUCHI (The Univ. of Tokyo)
- 357 **2.2 Award and Diversity**  
Norio SHIRATORI (Chuo Univ.)
- 358 **2.3 From the Area of Algorithms**  
Toshihide IBARAKI (Kyoto College of Graduate Studies for Informatics)
- 359 **2.4 Turing Test and Human Intelligence**  
Hitoshi ISAHARA (Toyoashi Univ. of Technology)
- 360 **2.5 Looking Back on Turing's Work to Contemplate the Future of Computation**  
Yasuhiro KATAGIRI (Future Univ. Hakodate)
- 361 **2.6 Wonderful Days with Andrew Yao**  
Tetsuo ASANO (Japan Advanced Institute of Science and Technology)
- 362 **2.7 Researchers Personality**  
Michihiko MINOH (Kyoto Univ.)
- 363 **2.8 Turing Award and the Nobel Prize**  
Kumiyo NAKAKOJI (Kyoto Univ.)
- 364 **2.9 Interaction with Two Turing Award Winners : Don Knuth and Bob Tarjan**  
Takao NISHIZEKI (Japan Advanced Institute of Science and Technology)
- 366 **2.10 Edward A. Feigenbaum, the Intellectual Giant who Transfers AI to Society**  
Toyoaki NISHIDA (Kyoto Univ.)
- 367 **2.11 The ACM Turing Award in My Memory**  
Eiiti WADA (IIT Innovation Institute)
- 368 **2.12 Lessons Learned from the Fifty Turing Award Laureates**  
Koji TORII (EASE SOKEN)
- 369 **2.13 Turing, Minsky and the Future of Artificial Intelligence**  
Yoichi TAKEBAYASHI (Shizuoka Univ.)
- 371 **3. Chronological Table of ACM A. M. Turing Laureates**

Special Article

- 386 **Impact of SHattered, Attack on Hash Function SHA-1**  
Rie Shigetomi YAMAGUCHI (The Univ. of Tokyo)

Special Features

**Advantages and Disadvantages of Doctoral Course Education**

- 388 **0. Foreword**  
Yuki IGARASHI (Meiji Univ.)
- 390 **1. Advantages and Disadvantages of Doctoral Course Education**  
Ken ENDO (Xiborg Inc. / Sony Computer Science Lab., Inc.)
- 390 **2. Fortune is Unpredictable and Changeable**  
Takuya AKIBA (Preferred Networks)
- 391 **3. Ph.D. for the Freelancers**  
Yoichi OCHIAI (Univ. of Tsukuba)
- 393 **4. Researcher or Entrepreneur**  
Minoru FUJIMOTO (mplusplus Co., Ltd)
- 394 **5. A Life of Doctoral Course while Working**  
Miki ENOKI (IBM Research-Tokyo)

- 395 **6. Taking Ph.D. as a Mature Age Student**  
Yasuhiro FUJIWARA (Nippon Telegraph and Telephone Corp.)
- 396 **7. The Advantages and Disadvantages of a Student in the Doctoral Program for Career Professionals**  
Kunihiro HASEGAWA (Canon Inc.)
- 397 **8. Time Spent with Experience**  
Saki MAEDA (Mitsubishi Electric Corp.)
- 398 **9. Wearing Two Hats ; As a Student in a Doctor's Course and a Researcher at a Company**  
Chiaki DOI (NTT DOCOMO, INC.)
- 399 **10. The View of the 8th Station of Mt. Ph.D. as a Worker**  
Kana MISAWA (The Univ. of Tokyo / Dentsu Inc.)
- 400 **11. When is the Best Time to Undertake a Ph.D.?**  
Kazuyo MIZUNO (Yahoo Japan Corp.)
- 401 **12. Getting 3 Years for Your Research Only**  
Takashi IJIRI (Shibaura Institute of Technology)
- 402 **13. The Dark and Long Tunnel...**  
Atsuko TAKEFUSA (National Institute of Informatics)
- 402 **14. Devoting Time to Research**  
Satoshi IIZUKA (Waseda Univ.)
- 403 **15. The Best Self Investment**  
Naoya KOIZUMI (The Univ. of Electro-Communications / JST PRESTO)
- 404 **16. Freedom to Choose, Responsibility to Choose – Lessons Learned after I Became a Faculty Member**  
Koji YATANI (The Univ. of Tokyo)
- 406 **17. Decision to Aim for Ph.D. without Aiming at an Academic Researcher**  
Takayuki ITOH (Ochanomizu Univ.)
- 408 **18. Program for Leading Graduate Schools : The Case of Graduate Program on Embodied Informatics at Waseda University**  
Tetsunori KOBAYASHI (Waseda Univ.)
- 410 **19. Encouragement of Going to Graduate School**  
Satoshi NAKAMURA (Meiji Univ.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 385 **University Faculty and Staff are Overworking**  
Shigeki GOTO (Waseda Univ.)

"Peta-gogy" for Future

- 411 **University Admissions Report Project**  
Hiroyasu KAKUDA (Committee of Information Entrance Examination)
- 412 **International Standardization Activities Toward Next Generation Digital Learning Environment (NGDLE)**  
Tsuneo YAMADA (The Open Univ. of Japan), Yuji TOKIWA (Hosei Univ.) and Shoji KAJITA (Kyoto Univ.)
- 416 **Report of Symposium "Future Informatics Education for University Students"**  
Naoko TAKAHASHI (Kokugakuin Univ.)

Series : National Survey of Japanese Universities on IT Education

- 420 **National Survey of Japanese Universities on IT Education : Overview of the Entire Project and Preliminary Analysis**  
Tetsuro KAKESHITA (Saga Univ.) and Naoko TAKAHASHI (Kokugakuin Univ.)

- 426 **Biblio Talk**
- 428 **Activities of IPSJ - Special Reports by the Female Team of IPSJ Magazine -**
- 432 **IPSJ Activity Report**
- 436 **Conference Report**
- 438 **Conference Report**
- 440 **The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine**

# 「情報処理」 カタログ同封サービスの ご案内



カタログ同封サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社/貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。  
 通常のDMと異なり学会誌に同封しますので、**読者の開封率は格段に上がります**。  
 また、カタログ送付にかかる**コストを最小に抑えることができ**、なおかつ情報処理を専門とする読者に**ターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能**となります。

## お申し込み方法と掲載までの手続き

- 封入希望月の前月15日までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。
  - ◆会社名、担当者、連絡先（住所、Tel、Fax、E-mail） ◆封入希望号
  - ◆サイズ ◆カタログの簡単な内容説明
  - ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。
- 封入希望月の遅くとも前月末日までに下記事項について手配をお願いします。
  - ◆カタログ見本を問合せ先までお送りください（PDF、Fax可）。
  - ◆納品業者をお知らせください。
- 納品日は封入希望月の5日（土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日）です。日付指定にて必要枚数（20,000枚）を印刷し指定の納品先へお送りください。
 

※納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。  
 ※納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。
- カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。
- 後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

1通あたり  
 約17.5円！

**基本価格 350,000円**  
 (税込 378,000円)

対象：全会員 20,000通 配布  
 (正会員/名誉会員/学生会員/賛助会員)

大学や  
 共催事業は  
 さらに割引も！

大学/研究所/賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学/研究所/賛助会員  
 (基本価格の40% Off!) **210,000円**  
 (税込 226,800円)

情報処理学会主催・共催事業\*  
 (基本価格の80% Off!) **70,000円**  
 (税込 75,600円)

\*情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4判またはA3判二つ折り（その他についてはご相談ください）  
 用紙：色上質厚口（四六判80kg）またはコート紙（四六判90kg）相当

## 問合せ先

【広告代理店】アドコム・メディア(株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp  
 〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27  
 Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部 E-mail: editj@ipsj.or.jp  
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
 Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

# ご意見をお寄せください！

【5月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）  
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp  
（E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください）  
※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。  
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. ( ) -
- (3) E-mail:
- (4) 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（小・中・高校・高専・大学・大学院など）  
(e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員） (g) その他…………… 4- [ ]
- (5) 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務  
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（小・中・高校・高専・大学・大学院など）  
(h) 学生 (i) 学生（ジュニア会員） (j) その他…………… 5- [ ]
- (6) 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上…………… 6- [ ]
- (7) 性別： (a) 男性 (b) 女性…………… 7- [ ]
- (8-1) あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ…………… 8-1- [ ]
- (8-2) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：  
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない…………… 8-2- [ ]
- (9) どちらの媒体で記事をお読みになりましたか？  
(a) 冊子版 (b) 情報学広場（電子図書館） (c) App Store (d) fujisan (e) その他…………… 9- [ ]
- (10) 今月号（2017年5月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。  
[ a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない ]
- 巻頭コラム：ACM チューリング賞 50 周年を祝って…………… 10-1- [ ]
- 特集：チューリング賞 50 周年によせて
- 『THE IMITATION GAME エニグマと天才数学者の秘密』見たよ記…………… 10-2- [ ]
1. アラン・チューリングの残光…………… 10-3- [ ]
2. コラム…………… 10-4- [ ]
3. 受賞者紹介…………… 10-5- [ ]
- 特集：博士課程進学のメリット・デメリット…………… 10-6- [ ]
- 特別解説：ハッシュ関数 SHA-1 に対する攻撃 SHAttered の影響…………… 10-7- [ ]
- IT 好き放題：大学人の勤務時間…………… 10-8- [ ]
- べた語義：大学入試改革事業関連の概要…………… 10-9- [ ]
- べた語義：次世代電子学習環境 (NGDLE) に向けた国際標準化の動向…………… 10-10- [ ]
- べた語義：AXIES & 一般情報教育委員会レポート…………… 10-11- [ ]
- 国内 750 大学の調査から見えてきた情報学教育の現状：(1) 調査の全貌編…………… 10-12- [ ]
- ビブリオ・トーク：21 世紀の歴史 未来の人類から見た世界…………… 10-13- [ ]
- 女子部が行く：最終回 Info-WorkPlace 委員会…………… 10-14- [ ]
- 学会活動報告：情報処理の知識の最前線 連続セミナーと Exciting Cording !…………… 10-15- [ ]
- 会議レポート：ISAAC 2016 会議報告…………… 10-16- [ ]
- 会議レポート：COLING 2016 参加報告…………… 10-17- [ ]
- 会誌編集委員会女子部…………… 10-18- [ ]
- 連載漫画：IT 日和…………… 10-19- [ ]
- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から 1 つだけ選び（例：10-8 の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- 〔11-1〕良かった記事…………… 11-1- [ ]
- 〔11-2〕この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家…………… 11-2- [ ]
- 〔11-3〕選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）…………… 11-3- [ ]
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった  
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

[12] 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [12-1] 良くなかった記事 ..... 12-1- [ ]  
 [12-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 12-2- [ ]  
 [12-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 12-3- [ ]  
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる  
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

[13] 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- [13-1] チューリング賞 50周年によせて：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 13-1- [ ]  
 [13-2] 博士課程進学のメリット・デメリット：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 13-2- [ ]

[14] 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

[15] 会誌に対するご意見や感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。  
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
<b>■ 会員サービス部門</b>			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会誌配布、会員特典、会費等口座振替、海外からの送金、賛助会員、電子図書館
<b>■ 会誌編集部門</b>			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、コンピュータ博物館（情報処理技術遺産）、著作権
デジタルプラクティス	editdp@ipsj.or.jp		デジタルプラクティス（DP）の編集・査読、DPレポート
図 書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入
<b>■ 研究部門</b>			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル/JIP/トランザクション）の編集・査読
調査研究／国際／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、研究グループ、シンポジウム、国際会議、IFIP委員会、情報処理教育委員会、ア krediyation対応、認定情報技術者制度
<b>■ 事業部門</b>			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、プログラミングコンテスト、プログラミング・シンポジウム、協賛・後援
技術応用	event@ipsj.or.jp		連続セミナー、短期セミナー、ITフォーラム、ソフトウェアジャパン、その他講習会
<b>■ 管理部門</b>			
総務／庶務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	総会・理事会、支部、選挙、総務系選奨、関連団体、アドバイザーボード
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、セキュリティ、電子化委員会、電子図書館、IPSJメールニュース
<b>■ 情報規格調査会</b>			
規格部門	問合せフォーム <a href="https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html">https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html</a>		ISO/IEC JTC 1での情報技術の標準化業務 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 <a href="http://www.itscj.ipsj.or.jp/">http://www.itscj.ipsj.or.jp/</a>

本特集は幅広い多くの方々の協力により実現した。下間氏（事務局）は電光石火で ACM 会長から巻頭言の寄稿と協力をとりつけてくれた。ACM 会長には巻頭言のご寄稿をいただき、広報の Bruce 氏に素材や資料で多大な協力をいただいた。連載 4 コママンガの打合せのため編集会議に同席していた山本氏は、特集の企画を知るとぜひチューリングのマンガを描きたいと申し出てくれた。村上氏はマンガの監修とチューリングに関する自身の原稿を快く引き

受けてくれた。本編の著者の方々にはご多忙の中、大変貴重なご寄稿をいただいた。もちろん塚本編集長はじめとする会誌編集部および AWG も総出で取り組んだ。編集子の力不足により至らなかった点が多いが、なんとか形になったのはこれら皆さまのご協力おかげである。ACM のチューリング賞 50 周年イベントの成功と、計算機科学のますますの発展を祈っている。

（金子 格／本特集エディタ）

本特集は、編集委員会の中で急遽決まり、走り出しました。執筆までの締切も短く、さらに執筆締切が年度末の多忙な時期に重なってしまったこともあり、執筆依頼をさせていただいた方々には本当に感謝しています。そして、スケジュールの都合上執筆が難しいとお断りされた方も数名いましたが、どの方もこの特集に対して、主旨に共感していただき、応援メッセージをいただきました。

博士課程というと未知の世界であったり、身の回りの少数の人だけがロールモデルであったりとしがちではないでしょうか。このようにさまざまなキャリアを紹介することで、博士号取得に向けての苦勞も得るものもあることを知ってもらい、進学するにせよ、しないにせよ、考える機会にしていれば幸いです。

本特集ではエディタとして五十嵐のほかにも、辻田編集委員・土井編集委員の 3 名で担当しました。執筆人数が多かったこともあり、担当は大変でしたが、女子部での担当

は、和気あいあいと楽しいメールが飛び交い、終始和やかでした。辻田委員・土井委員からも特集を担当してのコメントをいただきましたので紹介させていただきます。

「博士進学についてインターネットで検索すると、おもうず進学を思い止めてしまうような記事が多い気がします。本特集を担当するにあたり、できるだけさまざまな立場、キャリアパスの方の体験談をお伝えしたいと思い、取り組んできました。多くの著者の方が述べられているように、博士進学にはメリットもたくさんあります！博士進学に悩んでいる方に、少しでも役に立つ特集になっていたら嬉しいです」(辻田)、「全原稿を閲読させていただき、バックグラウンドや進学理由も受けた支援制度もそれぞれ。博士のカタチはまさに十人十色であることを実感しました。博士課程への進学を迷っている方には、ぜひ未来の自分の姿を想像しながら読んでいただけたらと思います」(土井)。

（五十嵐悠紀・辻田 眸・土井千章／本特集エディタ）

## 次号（6月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」ちょっと変わったプログラミング教室—プログラミングで絵、音、3D 物体を描こう、動かそう—  
絵によるプログラミング—Viscuit / 音や絵で遊ぼう—Siv3D (C++ ライブラリ) / 3D プリンタもプログラミングで—draw3dp  
(Python ライブラリ) / 論文の絵をプログラミングで描こう—Metapost

解 説：個人情報保護法について……………菊池浩明

教育コーナー：ぺた語義

連 載：古機巡礼 / 二進伝心 / IT 日和 / 会誌編集委員会女子部 / 国内 750 大学の調査から見てきた情報学教育の現状 /  
ビブリオ・トーク

コラム：巻頭コラム / シニアコラム：IT 好き放題

会議レポート：WSDM 2017 参加報告

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	190,000円 (税込205,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	165,000円 (税込178,200円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税込297,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		
同封 (A判 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会  
 発行部数 20,000部  
 体裁 A4判  
 発行日 毎当月15日  
 申込締切 前月10日  
 原稿締切 前月20日  
 広告原稿 完全版下データ  
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm  
 1/2頁 天地125mm×左右180mm  
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27  
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

\*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。  
 \*同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」 58巻5号 掲載広告（五十音順）

- インタフェース ..... 表2                       サイエンス社 ..... 目次前  
 オーム社 ..... 表2対向                       日本放送協会 ..... 表3  
 講談社 ..... 前付最終  
 すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ  
お名前 \_\_\_\_\_

勤務先 \_\_\_\_\_ 所属部署 \_\_\_\_\_

所在地 (〒 \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

TEL ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ FAX ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

ご専門の分野 \_\_\_\_\_



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



## 賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも  
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: [mem@ipsj.or.jp](mailto:mem@ipsj.or.jp) Tel.(03)3518-8370

### ●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

**HITACHI**  
Inspire the Next

(株) 日立製作所

**FUJITSU**

富士通 (株)

Orchestrating a brighter world

**NEC**

日本電気 (株)

**MITSUBISHI  
ELECTRIC**  
Changes for the Better

三菱電機 (株)

 **CyberAgent.**

(株) サイバーエージェント

**IBM**

日本アイ・ビー・エム (株)

### ●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

 **RECRUIT**

(株) リクルートホールディングス

 **Google**

グーグル (株)

**docomo**

(株) NTT ドコモ

**TOSHIBA**

(株) 東芝

 **NTT**

日本電信電話 (株)

 **Microsoft**

日本マイクロソフト (株)

### ●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

**NTT DATA**

NTT データ (株)

 **GREE**

GREE (株)

 **Rakuten**

楽天 (株)

 **JISA**

情報サービス産業協会

 **TREND  
MICRO**

トレンドマイクロ (株)

 **NTTコムウェア**

NTT コムウェア (株)

 **NTTテクノクロス**

NTT テクノクロス (株)

**uejima**

(株) うえじま企画

**OKI**

沖電気工業 (株)

**SANBI**

三美印刷 (株)

**SONY**

ソニー (株)

**Panasonic**

パナソニック (株)

 **FORUM 8**  
フォーラムエイト

(株) フォーラムエイト

人と音楽の新しい関係をデザインする。  
 **レコチョコ**

(株) レコチョコ